

■ 日本の国立公園 ■

国立公園で働く方にその国立公園の魅力を訊きます

国立公園とは、日本を代表する自然の風景地を環境大臣が指定し、自然の保護や利用を図る地域のこと。日本には現在 31 の国立公園があり、裏磐梯は磐梯朝日国立公園に指定されています。

「磐梯朝日国立公園」

昭和 25 年 9 月 5 日指定 / 面積 186,404ha / 山形県、新潟県、福島県
環境省 裏磐梯自然保護官事務所 自然保護官 二神紀彦さんよりご紹介いただきます。



磐梯朝日国立公園の磐梯吾妻・猪苗代地域は、磐梯山とその北側の裏磐梯のある磐梯地区、西吾妻山を最高峰とする吾妻連峰と安達太良山からなる吾妻地区、猪苗代湖のある猪苗代地区からなります。

磐梯地区は、明治に噴火した磐梯山の荒々しい山肌とその噴火によって形成された裏磐梯の 300 ともいわれる湖沼群が造り出す景観が有名で、国立公園指定のきっかけとなった代表的な景観です。また、裏磐梯では噴火で荒廃した土地が年々回復し、風景の移り変わりを感ずることができるのも裏磐梯だけの自然体験です。五色沼自然探勝路や中瀬沼探勝路など磐梯山の素晴らしい眺望を楽しめる散策路が数多く整備され、四季折々で楽しめます。



磐梯山（しらかば展望台より）

浄土平と一切経山（吾妻小富士より）



吾妻地区は、2000m級の新旧火山が東西に連なり、オオシラビソなどの森に湿原が点在し、原生的な景観が見られます。吾妻連峰の東側にある浄土平は、山岳観光道路の磐梯吾妻スカイラインを通り福島市街地から一時間足らずで行くことができ、手軽に高山の自然を楽しむことができます。吾妻小富士や東吾妻山、一切経山など展望のきく山が多く、日帰りのトレッキングにはうってつけの場所です。山麓にある温泉地で山の疲れを癒やすのも楽しみの一つです。

◆環境省 磐梯朝日国立公園 <http://www.env.go.jp/park/bandai/index.html>

■ ようこそ！ビジターセンターへ ■ 裏磐梯ビジターセンターの活動を紹介します

第 10 回 学生研究発表会を開催しました！

今年で 10 回目となる発表会。今年は 13 件の発表がありました。5 つの大学から多方面の分野の研究発表があり、テーマも様々で、地下水、湧水、食害昆虫、生き物の多様性や遷移変化、水域の放射性物質、山岳地域の植生保護、文化、エコツーリズムなどでした。発表は口頭によるものと、ポスターを掲示し発表者と直接話しができる形式の発表があり、盛んに質問や感想などのやりとりがありました。一般の方は学生がどんな風に考え、調査をしているのか触れることのできる機会となり、学生は地域の方々など普段説明する機会がない方々と話すことができたという好評でした。自然の中で調査する学生たちとそこで生活する地域の方々がお互いに新たな視点を発掘できたのではないかと思います。

